

令和7年度 協働のまちづくりチャレンジ事業 成果発表会

チャレンジ部門
ひとり親就労支援
「わたしアップデートプログラム」

シングルナビ
代表 宮田さやか

団体紹介

 メンバー5名

 設立 1年



ひとり親の自立を「就労」と「環境」で実現する

事業について

ひとり親就労支援プログラム

“わたしアップデートプログラム”

8月24日 (日)	10:30~12:00	キックオフ・マインドセット
9月21日 (日)	10:30~12:00	ファイナンシャルシミュレーション
10月19日 (日)	10:30~12:00	キャリアコンサルティング
11月9日 (日)	10:30~12:00	セルフブランディング
12月14日 (日)	10:30~12:00	支援制度活用
1月18日 (日)	10:30~12:00	振り返り・目標設定

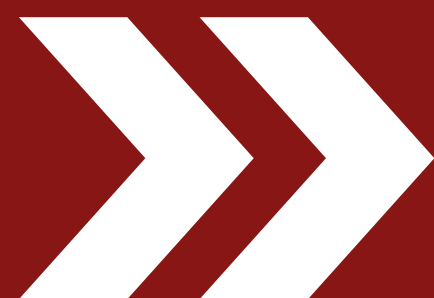
事業のねらい

当初

システム開発ニーズ検証

- ユーザーのITリテラシーの差が非常に大きい
- システムは「便利だが、なくてもなんとかなる」

優先度低い



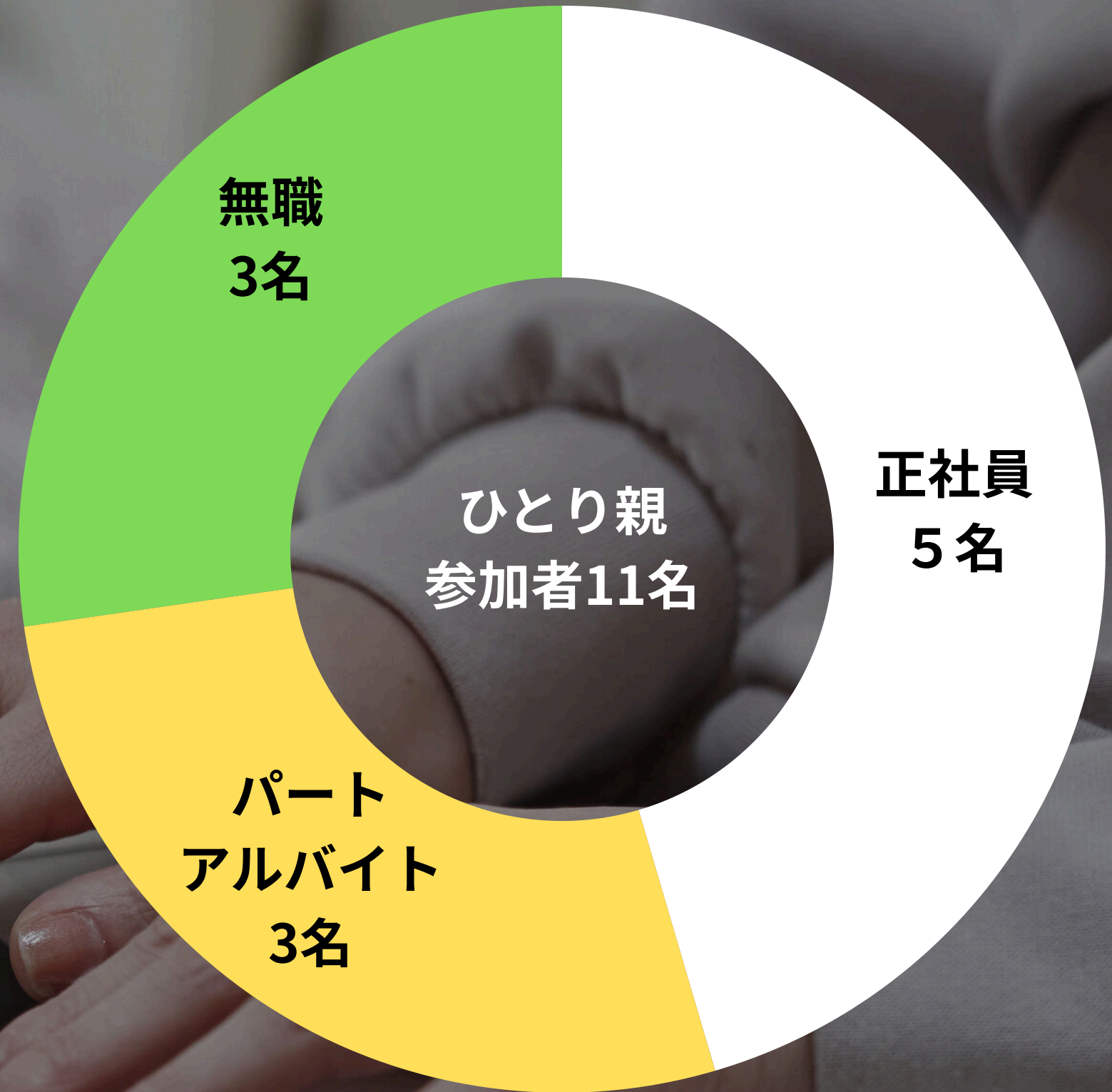
現在

持続的な就労支援

- 児童扶養手当が終了するまでに、生涯年収をどう上げるか
- 非正規雇用から正規雇用への転換

優先度高い

全6回実施



就 労

情報の精査

- 家事育児による時間の制約で情報収集がままならない
- SNSや求人サイトでは正しい情報かわからない



ひとり親に理解のある企業情報を信頼できる形で届ける存在が必要

環 境

孤立

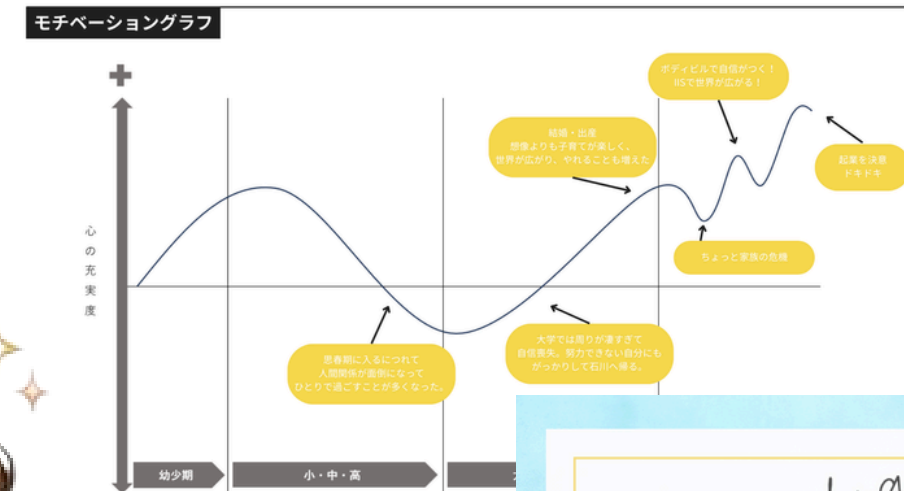
- ひとりで頑張り続けることは難しい
- 目標を共有し励まし合える仲間が必要



支援団体・企業・ひとり親をつなぎ頑張れる環境を設計する



- 全ての回でフレームワークを活用したワークを実施
- 「考えが整理された」「頭の中が見える化された」という声が多かった



Self branding
自分の強みを戦略的に発信

株式会社kanadea
井川久美子

課題を感じたこと

課題

- ワークを「やるだけ」で終わってしまう
- 具体的な行動変容に繋がらなかった
- テーマを広げすぎてしまった（多すぎた）



今後の対策

- 持続的なプログラム設計をする
- 計画→実践→評価→振り返りのPDCAサイクルを回す
- テーマを絞る

今後の展望

- 努力・やる気・モチベーションといった不確かなものに依存しない支援を設計
- 単発セミナーではなく中長期での伴走支援が不可欠
- 持続のためには非営利 × 営利のハイブリッド展開が必要



KPI=叶えた“夢”の数

最後に

金沢市
子育て支援課

NPO法人
シンママ
応援団

託児
ボランティア



ご指導・ご協力
誠にありがとうございました！